

問題 2

I. 伝送線路からなる回路に関する以下の問に答えよ. 電圧と電流は複素数表示であり, 角周波数を ω とし, 虚数単位を j とする. 回路は時間に対して定常状態であるとする.

(1) 単位長さ当たりのインダクタンス L およびキャパシタンス C を有する損失のない理想的な伝送線路は, 図1に示すような等価回路として表される.

(1-i) 点線で囲まれた位置 x と $x + dx$ の間の微小部分におけるインダクタとキャパシタの複素インピーダンスを求めよ.

(1-ii) 位置 x を流れる電流と線路間電圧をそれぞれ I, V とし, 位置 $x + dx$ を流れる電流と線路間電圧をそれぞれ $I + dI, V + dV$ とする. このとき I と V の間に成り立つ x に関する一階の微分方程式を, ω を含んだ2つの式で表せ.

(1-iii) I と V それぞれについて, x に関する二階の微分方程式を表せ.

(1-iv) 問(1-iii)で表した二階の微分方程式の一般解は以下のように書ける.

$$V = Ae^{-\gamma x} + Be^{\gamma x} \quad (\text{i})$$

$$I = \frac{Ae^{-\gamma x}}{Z_0} - \frac{Be^{\gamma x}}{Z_0} \quad (\text{ii})$$

ただし A と B は定数である. このとき γ および Z_0 を ω, L, C を用いて表せ.

(2) 図2に示すように, この伝送線路を, $x = l$ で抵抗値 Z_R の抵抗で終端する. この抵抗に流れる電流と印加される電圧をそれぞれ I_R, V_R とする. $\beta = \omega\sqrt{LC}$ と定義する.

(2-i) 式(i)と式(ii)の第1項, 第2項はそれぞれ, 伝搬する信号の進行波, 反射波を表す. $x = l$ で $B = 0$ となり反射波が生じなくなるとき, Z_R と Z_0 の間の関係を求めよ.

(2-ii) 入力電圧を V_S , 入力電流を I_S として, 入力端 $x = 0$ から見た伝送線路の複素インピーダンスを $Z_S = V_S/I_S$ とすると, Z_S を以下の式の形のように表せ. ただし $\tanh(x) = \frac{e^x - e^{-x}}{e^x + e^{-x}}$ である.

$$Z_S = Z_0 \frac{\square + \square \tanh(\square)}{\square + \square \tanh(\square)}$$

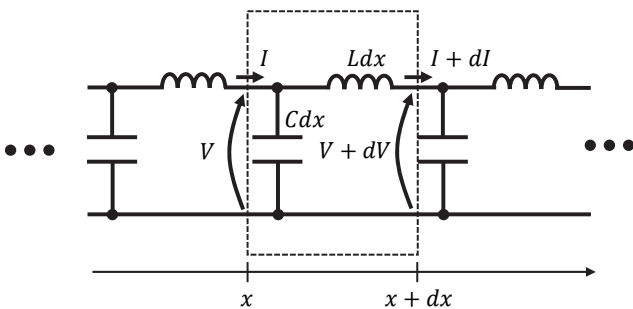


図 1

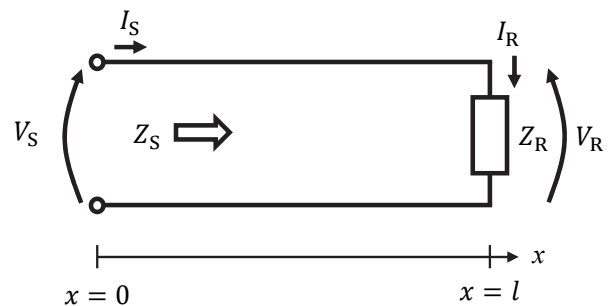


図 2

II. N型MOSトランジスタを用いた回路に関する以下の問に答えよ。

トランジスタのゲート-ソース間の電圧を V_{GS} 、閾値電圧を V_{TH} 、ドレイン電流を I_D 、トランスコンダクタンスを g_m とする。いくつかの V_{GS} に対する直流ドレイン電圧-ドレイン電流特性は図3のように表され、各曲線の変曲点におけるドレイン電圧は $V_{GS} - V_{TH}$ となり、その電圧でのドレイン電流は $V_{GS} - V_{TH}$ の2乗に比例する。トランジスタの小信号等価回路は図4のように表される。

(1) トランジスタが飽和領域にあるときの g_m を V_{GS} 、 I_D 、 V_{TH} を用いて表せ。

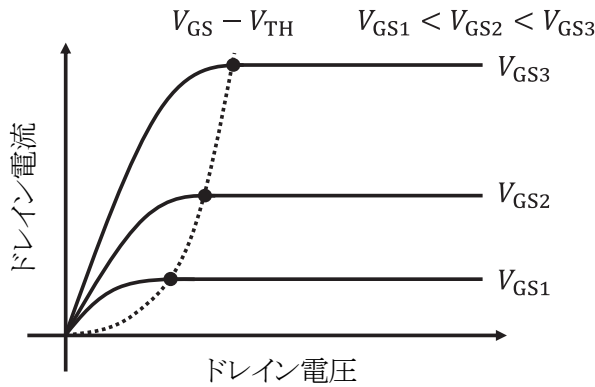


図3

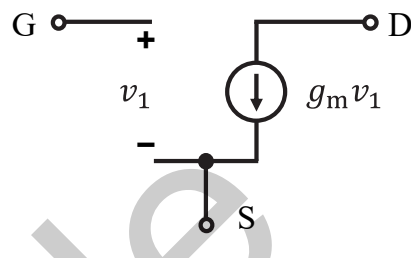


図4

トランジスタMと抵抗およびキャパシタを用いて図5に示す電圧増幅回路を構成した。電源電圧を V_{DD} とする。小信号の入力電圧、出力電圧をそれぞれ v_{in} 、 v_{out} とし、そのラプラス変換を $V_{in}(s)$ 、 $V_{out}(s)$ とする。 s をラプラス変換の変数とする。

- (2) 電源電圧 V_{DD} を印加した時、Mにはドレイン電流 I_D が流れる。この時、Mが飽和領域で動作するための負荷抵抗 R_L の最大値を V_{DD} 、 V_{TH} 、 I_D を用いて表せ。
- (3) Mが飽和領域で動作しているとき、図5の回路の小信号等価回路を図示せよ。
- (4) Mが飽和領域で動作しているとき、伝達関数 $\frac{V_{out}(s)}{V_{in}(s)}$ を求めよ。
- (5) 問(4)で求めた伝達関数について、振幅と位相に関するボーデ線図を示せ。ただし、 $C_1 R$ は $C_2 R_L$ に対して十分に大きいものとする。
- (6) 周波数が十分に高い領域において問(4)で求めた伝達関数の振幅が1となるときの角周波数を求めよ。

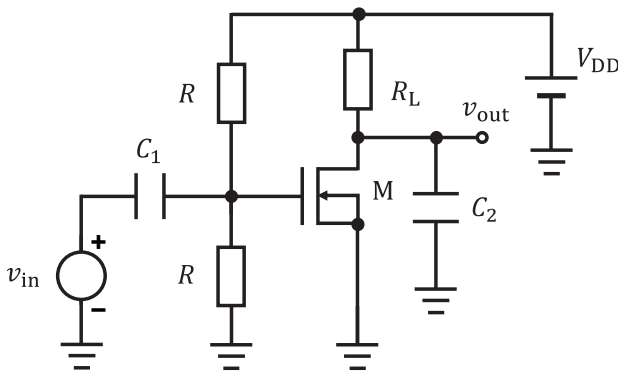
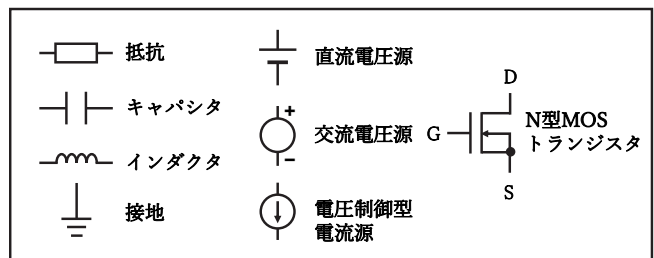


図5



凡例